

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 16 年 12 月 9 日 (2004.12.9)

【公開番号】特開 2002-108932 (P2002-108932A)

【公開日】平成 14 年 4 月 12 日 (2002.4.12)

【出願番号】特願 2000-297930 (P2000-297930)

【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 17/30

G 0 6 F 3/14

G 0 6 F 3/153

G 0 6 F 13/00

【F I】

G 0 6 F 17/30 3 4 0 B

G 0 6 F 17/30 3 1 0 A

G 0 6 F 17/30 4 1 9 A

G 0 6 F 3/14 3 6 0 A

G 0 6 F 3/153 3 3 0 A

G 0 6 F 13/00 5 4 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 12 月 19 日 (2003.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ツリー構造で遷移する画面情報の保存を制御するための画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、
コンピュータに、

画面情報の表示元が表示する画面遷移ボタンの操作に応答して、上記ツリー構造の下位層に向かう形で画面遷移が指示される場合に、遷移先の画面情報を保存させる保存手段、
画面情報の表示元が表示する画面遷移ボタンの操作に応答して、上記ツリー構造の上位層に向かう形で画面遷移が指示される場合に、上記保存される画面情報の中から、遷移元の画面情報を削除するとともに、該遷移元画面情報と遷移先の画面情報との間に位置する画面情報を削除する削除手段、
として機能させる画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載される画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、

上記保存手段は、更に、画面情報で表示されるデータベース検索データと、該データベース検索データの検索条件データとを保存させることを、
特徴とする画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 3】

請求項 2 に記載される画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、
上記保存手段は、更に、画面情報に対応付けて定義されるデータベース検索データを保存するの可否を示す情報に従って、データベース検索データを保存させるの可否を決定することを、
特徴とする画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 4】

請求項 3 に記載される画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、
コンピュータに、更に、
データベース検索データが保存されない画面情報に遷移する場合に、上記保存される検索条件データを使ってデータベースを検索する検索手段として機能させることを、
特徴とする画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項 5】

請求項 2 ないし 4 のいずれか 1 項に記載される画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体において、
コンピュータに、更に、
遷移先の画面情報に対応付けて定義されるデータベースを再検索するの可否を示す情報に従って、データベースを再検索するの可否を決定する決定手段として機能させることを、
特徴とする画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ツリー構造で遷移する画面情報の保存を制御するための画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関し、特に、メモリ容量と処理速度とのバランスを図りつつ画面情報を保存できるようにする画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するために、本発明のコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録された画面情報保存制御用プログラムにより実現される画面情報保存制御方法は、ツリー構造で遷移する画面情報の保存を制御するために、画面情報の表示元が表示する画面遷移ボタン

の操作に 응답して、ツリー構造の下位層に向かう形で画面遷移が指示される場合に、遷移先の画面情報を保存する過程と、画面情報の表示元が表示する画面遷移ボタンの操作に 응답して、ツリー構造の上位層に向かう形で画面遷移が指示される場合に、保存される画面情報の中から、遷移元の画面情報を削除するとともに、その遷移元画面情報と遷移先の画面情報との間に位置する画面情報を削除する過程とを備えるように構成する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

そして、データベース検索データを保存する構成を採るときには、遷移先の画面情報に対応付けて定義されるデータベースを再検索するの可否を示す情報に従って、データベースを再検索するの可否を決定する過程を備えることがある。

以上に説明したように、本発明のコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、ツリー構造で遷移する画面情報の保存を制御するための画面情報保存制御用プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、コンピュータに、(1)画面情報の表示元が表示する画面遷移ボタンの操作に 응답して、上記ツリー構造の下位層に向かう形で画面遷移が指示される場合に、遷移先の画面情報を保存させる保存手段と、(2)画面情報の表示元が表示する画面遷移ボタンの操作に 응답して、上記ツリー構造の上位層に向かう形で画面遷移が指示される場合に、上記保存される画面情報の中から、遷移元の画面情報を削除するとともに、該遷移元画面情報と遷移先の画面情報との間に位置する画面情報を削除する削除手段と、(3)データベース検索データが保存されない画面情報に遷移する場合に、上記保存される検索条件データを使ってデータベースを検索する検索手段と、(4)遷移先の画面情報に対応付けて定義されるデータベースを再検索するの可否を示す情報に従って、データベースを再検索するの可否を決定する決定手段として機能させる画面情報保存制御用プログラムを記録する。

この構成を採るときに、上記保存手段は、更に、画面情報で表示されるデータベース検索データと、該データベース検索データの検索条件データとを保存させることがある。また、上記保存手段は、更に、画面情報に対応付けて定義されるデータベース検索データを保存するの可否を示す情報に従って、データベース検索データを保存させるの可否を決定することがある。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

このように構成される本発明のコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録された画面情報保存制御用プログラムにより実現される画面情報保存制御方法では、画面情報を表示するWeb画面に設けられる画面遷移ボタンの操作には 응답せずに、画面情報の表示元が表示する画面遷移ボタンの操作に 응답して、ツリー構造の下位層に向かう形で画面遷移が指示される場合に、遷移先の画面情報を保存する。